

鵜飼客にフレンチ「オーエセル」

鬼頭社長にわかあゆ賞

岐阜商議所が授与



村瀬幸雄会頭から記念の盾を受け取る鬼頭研治社長(左)＝岐阜市神田町、岐阜商工会議所

岐阜商工会議所は27日、会議所の支援で創業したり、新商品やサービスを開発した新興事業者をたたえる「わかあゆ賞」を、フ

ランス料理や弁当を販売する「Eau et sel(オーエセル)」(岐阜市宇佐)の鬼頭研治社長(56)に授与した。



オーエセルは2001年開店のフレンチレストランを運営するほか、「鵜飼でフレンチ」と銘打ち、今年から観覧船向けの弁当の販売を開始。コース料理や岐阜にちなんだ弁当など6種を販売する。個人客がホームページから手軽に予約できるため、鵜飼を楽しむ新たな客層の獲得への期待がかかる。
同市神田町の岐阜商工会

議所で授与式があり、村瀬幸雄会頭が鬼頭社長に記念の盾を手渡した。鬼頭社長

は「今後は高級船向けのケータリングサービスなども計画したい」と語った。

わかあゆ賞は2015年に創設し、受賞は13例目となった。



仏料理オー・エ・セル
鬼頭社長わかあゆ賞
岐阜商議所が選出

岐阜商工会議所は二十七日、岐阜市宇佐でフランス料理店を経営する「オー・エ・セル」の鬼頭研治社長（五〇歳）を、挑戦する企業をたたえる商議所の「わかあゆ賞」に選んだ。

オー・エ・セルは二〇〇一年に開業。コロナ禍の中での新たな事業として、長良川の鵜飼観覧船を楽しむ乗客に、仏料理やポルトガル料理の要素を盛り込んだ

弁当を開発。その独自性が評価された。今後個人で鵜飼を楽しむ若い人をターゲットに、弁当の開発を続けるという。

わかあゆ賞は二〇一五年に創設し、今回で十三回目となる。（池内琢）



わかあゆ賞を受けたオー・エセルの鬼頭社長（右）＝岐阜市神田町の岐阜商工会議所で

岐阜商工会議所
「わかあゆ賞」で表彰

【岐阜】岐阜商工会議所は、同会議所の支援を受けて開発された優れたサービス・商品をつたえる「わかあゆ賞」に、フランス料理

レストランを運営するオーエセル（本社岐阜市、鬼頭研治社長）を選定した。27日、岐阜市の同会議所で授賞式を開いた。

同社は、岐阜市の伝統漁「長良川鵜飼（うかい）」の乗船客用弁当の販売を開始した。インスタ映えを意識した弁当や高級なフランス料理のおせちなどを

そろえ、幅広い世代のニーズに対応している。同会議所には各種補助金の申請などで支援を受けた。

鬼頭社長は「今後、高級船専用のサービスも検討している。岐阜の観光活性化に貢献したい」と話した。

村瀬幸雄会頭は「これまで鵜飼い客向けの弁当には選択肢が少ないという課題があった。オーエセルの新サービスは岐阜の観光を一歩前に進めた取り組みだと思ふ。今後も応援したい」と述べた。

賞状を持つ鬼頭社長（左）と村瀬会頭